

一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数の中で、議員本人が質問・答弁の原稿を作成し、原則、原文のまま掲載をしています。

ここに掲載できない質問答弁は、八女市ホームページ等ご覧ください。各議員の顔写真横にあるQRコードをスマートフォン等で読み取ると、その議員の議会録画映像をご覧ください。

(データ通信料は利用者負担となります。)

一般質問

質問者	質問事項	掲載ページ
高山 正信	1 新型コロナウイルス感染症対策について 2 まち・ひと・しごと創生総合戦略について	9
三角 真弓	1 コロナ禍による社会的孤立対策について 2 学校運営について	9
川口 堅志	1 中小企業の経済支援について 2 観光事業について	10
堤 康幸	1 耕作放棄地対策について 2 「八女ふる里学」改訂について	10
松崎 辰義	1 学校の統廃合について（見崎地区） 2 避難所対策について	11
牛島 孝之	1 新庁舎建設及び市民との意見交換会について 2 今後の市のコロナ対策についての考えは 3 八女市の教育について	11
森 茂生	1 特別障害者手当について 2 読解力向上について 3 国保税の減免について	12
高橋 信広	1 新型コロナウイルス感染症対策について 2 デジタル化の推進について	12
萩尾 洋	1 治水対策について 2 学校教育について	13
田中 栄一	1 新型コロナウイルスワクチン接種及び避難所のあり方について	13
橋本 正敏	1 生産年齢人口減少に対する施策について	14



映像配信
サイト



集積された土地はいいが、遊休地などの 今後をどのように考えているか

課長 全ての農地を活用していくのは大変厳しい状況である

総合戦略について
まち・ひと・しごと創生

議員 認定農業者が年々減少傾向にある中、今までの施策では増加させることは難しいと思うが。

課長 国の農業次世代育成人材投資事業を活用するとともに、就農支援対策会議、八女市担い手育成総合支援協議会を中心に推進を図っている。

議員 八女材を流通させて、利活用促進につなげるだろうか。

課長 八女材を新築住宅での利活用促進や搬出間伐材の補助支援を行っている。



荒廃森林事業により整備（間伐）された森林

新型コロナウイルス感染症対策について

議員 余剰ワクチンが発生した場合の対応は。

課長 介護・障がい者施設の従事者、教職員、保育士などの方をリストアップしている。

議員 体育の授業などでマスク着用の線引きは。

課長 児童生徒の体調の把握に努め、熱中症に関する指数計などを活用しながら、柔軟に対応する。

給食な合とた
供林つ組りた
なでに林かり
的と定森つめ
安こ安し進望
定営うがし進
のき経よ行政し
材がのるよ行政し
木がのるよ行政し
材がのるよ行政し
材がのるよ行政し



映像配信
サイト



コロナ禍で社会的孤立がより深刻化し 生活困難層が増加、早急な対策を

市長 多機関協働による重層的支援体制の整備を進める



議員 今回のコロナ禍により社会的孤立が深刻化しているが、従前から社会の課題であったものがあえて浮き彫りになったり、社会的に弱い立場にある人たちが抱えていた問題がより鮮明になってきたとも言われている。特に中山間地域における高齢者等の孤立や孤独の実態は、どのように把握されているのか。

部長 具体的な課題の把握はできていないが、民生委員、行政区長等からの情報の提供の範囲内で把握している。

議員 健康状態の悪化や経済の不安定化・社会保障給付費の増大等、社会に大きな影響を及ぼしており、中でも18歳以上の

人口のうち12%が社会的孤立である。今後は市の財政の長期的制度設計の見直しも必要であり、重層的支援体制整備にどのように取り組むのか。

課長 断らない相談支援を社協と連携してやる。学校運営について

議員 保護者等の負担にならない給食費の徴収は。

教育長 検討を始めた。

議員 大きな予算であるが給食費無償化の検討を

市長 検討する課題ではないかということについては十分考えていきたい。

子どものための
目的は常三郎氏
の幸福（牧口常三郎の言葉）
教育の目的は常三郎氏
の幸福（牧口常三郎の言葉）

川口 堅志

映像配信
サイト

新型コロナウイルス対策の中小企業・個人事業者の経済対策について

課長 今後も商工会・商工会議所と連携を取りながら取組みを進める

議員 コロナウイルスの影響による倒産、解雇の現状を把握しているか。

課長 福岡県では、5月28日の時点で解雇等を行っているであろう事業所が409、人数が1925名である。

議員 現在までのような支援を行ってきたのか。

課長 1事業者に10万円の給付を、実質3488事業者に、家賃支援4万円を467事業者に行った。またプレミアム率20%付き商品券を発行した。その他、セーフティネット資金関連で984件の認定を行った。

議員 商店補助金はどの

議員 ようなものがあるか。

課長 新技術や新製品の事業化や新たな設備導入等に対する補助等がある。

観光振興について

議員 本市の観光振興における現状はどのように把握しているか。

課長 観光客数は、毎年200万人を超えていたが、昨年度は120万3千人と減少、前年度より39.5%の減となっている。

議員 今後の対策はどのように考えているか。

課長 上質な体験をテーマに、滞在型の観光ツアー、体験型の観光等を行う。



閑散とした街並みに賑わいをとりもどそう

耕作放棄地の拡大防止のため、優良農地の栽培継承策が必要と考えるが

市長 JA・県・国等と連携し、指導を仰ぎ進めていく

堤 康幸

映像配信
サイト

議員 耕作放棄地の現状は。

市長 令和2年度の農業委員会の調査によると、市内農地約1万160haのうち約689haが荒廃農地となっている。

議員 荒廃農地の地域別状況はどうなっているか。

課長 農地面積比率は、旧八女市3%、上陽町9%、黒木町11.1%、立花町6.5%、矢部村1.3%、星野村2.2%となっている。

議員 拡大防止策の具体的な内容は。

課長 農家数の減少や高



賃貸借により栽培中のミカン園

齢化等大変厳しい状況と認識しており、対策として、中山間地域等直接支払制度への取り組みがある。現在、196集落、2728名、面積1723haが受益地として活動している。また、その中で優良農地の担い手等についての協議もなされている。

議員 中山間地域の農地には果樹栽培が最適と考える。農地中間管理機構関連農地整備事業を活用し、小規模で集約的な農業を目指す方向もあるが。

課長 農地中間管理機構関連農地整備事業は県が事業主体で、実質農家負担は無い事業である。中山間地域では50a以上の団地が合計5haあれば良いとされている。農業者も、労働力確保のため、多品目による複合経営を導入している現状もある。行政としても応援体制が重要と認識している。



映像配信
サイト



学校統合について地域の皆さんは、小規模特認校制度の活用を要望されているが

課長 現在は学校再編を協議中なので、見守っている

議員 八女市立学校再編整備基本構想の中に「切磋琢磨する機会があることが望まれている」とある。切磋琢磨とは聞こえはいいが、この言葉で子どもたちは学習の競争をさせられているのではなにか。

課長 過度の競争ではなく、学びの中でより良い自分に高めていくことも述べられている。

議員 国連子どもの権利委員会は日本政府に対して、3回にわたって過度に競争主義的な環境にならないように、学校制度及び学力に関する仕組みを再検討することを勧告している。

議員 しているにもかかわらず、全く改善されていないが。

課長 過度の競争主義に陥らないようにとは同じ考え方である。

議員 学校規模では小規模が進んでおり、国の定める12学級から18学級に近づける必要があるとされているが、この法的根拠とは何か。

課長 法的な根拠であるならば分からない。

議員 分からないで基本構想に書くのか。

課長 多様な他者との学びをする上で重要であるという考えの下で掲げている。



学習する子どもたち



映像配信
サイト



新庁舎建設凍結については、いつ頃までを考えているのか

市長 適切な時期に判断し、改めて議会と協議したい

議員 凍結になった理由は。

課長 総務省からの連絡文書により合併推進債の期限が延びたため。

議員 現在示されている図面は実施設計図面か。

市長 新庁舎建設に係る実施設計については令和2年度に完了している。

議員 八女市が以前行った新庁舎に関する説明会は何名の出席があったのか。

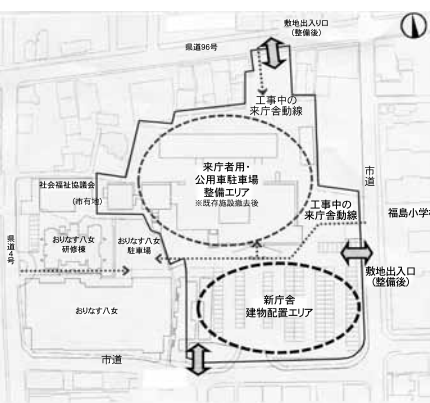
課長 令和元年5月21日ありなす八女で行った八女市新庁舎建設基本計画に伴う市民説明会出席者は27名、翌日の5月22日黒木支所大会議室で行った同説明会が出席者14名

議員 実施設計に対する説明会を市民の皆様にはまだではないのか。

市長 現在進めている用地取得の目途がつき、さらに建設着工予定が決まったら行いたい。

議員 総務省から県を通して八女市は実施設計が終わって、工事着手になる時点で合併推進債の認可をするのになぜ発注しないのかという話がある。

市長 タイミングを十分考えながら、まちづくり懇談会については、また時期を見て開催する必要があると考えている。将来の八女市づくりのために努力をしていきたい。



基本計画図

特別障害者手当（月額2万7350円） 受給資格は

部長 要介護4や5でも該当する可能性あり



森 茂 生

映像配信
サイト



特別障害者手当について
議員 在宅介護は、老老介護など非常に深刻な状態にある。その在宅介護の手助けになるのが特別障害者手当だが、ほとんど周知されていないのが現状。障がい者手帳がないとダメと勘違いしている人も多い。又、要介護4や5でも受給の可能性があるが、ケアマネージャーもこの制度をほとんど知らない。受給資格のある人には、漏れがないように周知徹底を。
部長 介護部門等も含め周知方法については充分検討する。

読解力向上について
議員 図書館の貸出密度（人口1人当たり貸出冊数）が八女市は非常に低く3冊。県下でも低い方から3番目である。上げる手立ては。
教育長 南筑後辺りでは最低になっている。図書館の登録率も非常に低い。令和8年度までに3・6冊まで上げる目標で取り組む。



1ヶ月1冊が
いいの
ですか？
調査、1ヶ月1冊が
いいの
ですか？
調査、1ヶ月1冊が
いいの
ですか？

デジタル化にどのような考えで取り 組むのか

市長 デジタル化推進計画を策定した上で前に進めたい



高 橋 信 広

映像配信
サイト



全庁挙げてデジタル化を
議員 デジタル化に向けて、具体的にどのような取り組みから始めるのか。
課長 市民が、いつでもどこでも早く簡単に行政サービスが利用できるよう、行政手続きのオンライン化を進めていく。
議員 加賀市は、マイナンバーカードを利用して、デジタルサービスの提供をいち早く開始している。この度、e・加賀市民制度を発表したが、関係人口創出のモデルとしてたいへん参考になる戦略と
部長 先端技術活用調査事業において、加賀市の

切り札はワクチン接種！
議員 高齢者の次は、どのような順位で行うのか。
課長 基礎疾患のある方、60〜64歳を優先し、10歳刻みで接種券を準備している。状況を見ながら10歳ごとか20歳ごとかを判断していく。



※ e・加賀市民制度
e・加賀市民という電子上の市民を創設し、様々な分野で市民に準じた行政サービス等を提供する制度。

は早動、チグ
鍵あり、活
束あり、経
収で、社会
禍に、取り
ナチ社、取
コワ期に、
ワク社、取
ワク期に、
コワ期に、
ワク社、取
ワク期に、

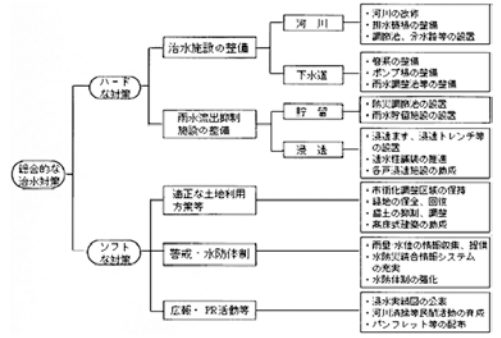


映像配信
サイト



治水対策は今までどのようなことを実施してきたのか

市長 堆積土砂の^{しゅんせつ}浚渫、河川内の支障木の伐採等を行ってきた



議員 今後の治水対策の方向性は

市長 福島、長峰校区で河川の現状や浸水状況について調査を実施。その結果を基に治水の方針を決定し順次対策工事を実施していききたい。

議員 どのような対策か。

課長 堰の改良（引き上げ式を自動転倒式）や、（リアルタイムで見られる）河川監視カメラ、水位計を設置する。

議員 以前より洪水時に一時的に貯留し後に貯めた水を川に流す調整池の設置を要望。国道3号の

工事で流れがよくなれば下流域で被害がでないか。

課長 現在、国道3号吉田交差点横断部分のボックスの拡幅工事が進行中だが、当然下流域に浸水被害が生じるので、国道3号を横断した付近に調整池の検討を行っている。

学校教育について

議員 校則は誰のためにあるのか。

教育長 児童生徒が健全な学校生活を営み、成長するための行動指針だと考えている。

議員 校則で生徒を拘束していないか。

教育長 一人一人の生徒に応じて適切な指導を行うとともに、内面的な自覚を促し、校則を自主的に守るよう指導している。

く学校生活を送れるように
生徒たちが伸び伸びと生活を送れるように
（〜♪）

コロナワクチン接種のスムーズな予約と避難所の対策をどう考える

市長 支援窓口設置・予約枠数の増及び感染防止対策を徹底する



映像配信
サイト



議員 ワクチン接種予約の改善を

議員 7月末までに高齢者の接種は完了するのか。

課長 現在の状況では厳しい。

議員 予約トップ画面で空き情報が見られないので改善を求める。

課長 検討する。

議員 市の直営・指定管理施設で予約支援はできないか。

課長 ニーズや支援窓口への電話相談を踏まえながら検討する。

議員 配慮が必要な方への対応はどうしている。

部長 地域事情に詳しい民生委員、行政区長、包括支援センターなどをお願いしている。



会場で接種を待つ予約者

議員 ワクチン残余分を無駄にしない方策はどうする。

課長 保健師、保育士、介護従事者等のリストを作成し、あらかじめ接種券を渡している。

避難所対策は

議員 変異型の感染力は従来型の2倍と言われ、従来の避難所の考え方は対応できない。対策をどう考えているか。

課長 基本的な感染防止対策を徹底していく。

議員 奥八女エリアでは避難ルートの危険性を考慮し、避難所を細分化して開設すべきではないか。

課長 現時点では別途市が開設する考えはない。



映像配信
サイト



市内への移住、定住の担当課はどこか、 またその取り組みは

市長 定住対策課が主体に各事業担当課の支援策を
推進している

議員 地域おこし協力隊
事業の実績は、

課長 平成25年度から、

25名が市内で活動、15名
が退任の内9名が市内に
定住し、就業・起業され
ている。

議員 プチ移住体験、就
業型お試し体験事業の成
果はどうか。

課長 体験期間中の宿泊
費、レンタカー、移動費
等を助成する事業で、昨
年度9名が体験され、内
4名が市内に転入された。
議員 半農半X^{エックス}の考えと
取り組みは。

課長 八女市担い手育成
総合支援協議会内に相談
員を設置、またJAの就



生産年齢人口の減少は喫緊の課題である

議員 農センター、受け入れ農
家選定で実践的研修シス
テムを構築している。

議員 市職員の農産物収
穫の副業はできないか。

課長 地域貢献活動は推
進しているが、労働者性
の強いものは慎重に検討
したい。

議員 特定地域づくり協
同組合の設置の考えは。

課長 大きな財政支出、
労働力のバランス等を考
慮し、関係団体と情報交
換しながら研究していく。
議員 ワークেশションの
取り組みは。

課長 新しい就労の形、
観光施設の活用方法の一
つとして研究していく。

全国市議会議長会表彰

市議会議員として長きにわたり市政の振興、発展に尽くされた功績により、
第97回全国市議会議長会の定期総会において2名の議員が表彰されました。



議員10年以上

萩尾 洋 議員

議員10年以上

牛島孝之 議員